

「金色の風」の認知度向上へ 生産地と消費地を結ぶ交流会



生産地と消費地を結ぶ交流会が11月11日、大阪帝国ホテルで開催され、全国から15県28JAが参加しました。今年で25回を迎えた交流会には、米の卸業者や販売店から200人以上が来場。当JAは、「金色の風」の試食を勧めながら認知度向上を目指しPRしました。来場者は品質の良さを認めながらも、関西地区でのPR不足やおいしい炊き方が分からないなどの声が寄せられました。「金色の風」は水加減で味わいが変わるため、おいしく食べてもらうために炊き方のPRの必要性を感じました。

